

## 2017年度 体育学研究科(体育学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	授業形態	単位	担当者名
スポーツ文化社会科学特論Ⅲ	1・2年次春学期 (1・3セメスター) 集中講義・隔年開講	講義	2	川西 正志
<b>授業概要</b>				
生涯スポーツや運動による健康づくりに関する日本の政策、指導者、スポーツ集団、プログラムの現状と課題について、最新の国際的研究論文や資料等を用いて、各自のレポートを含めて積極的な論議を展開する。				
<b>授業目標(到達目標)</b>				
生涯スポーツについて、国際的視点から、概念定義、研究方法論、現状分析、研究動向と課題を総合的に考究し、国際社会における日本の生涯スポーツ振興のレベルを評価できる基礎的能力と研究への応用能力を修得する。				
<b>成績評価方法・基準</b>				
平常点30%、授業への取り組み状況30%、最終レポート40% (ただし、規定の出席回数をクリアしている者が評価対象者となる。)				
<b>教科書・教材・参考文献 等</b>				
[テキスト] 川西正志、野川春夫編著:生涯スポーツ実践論, 市村出版 川西正志、野川春夫監訳:ヨーロッパ諸国のスポーツクラブ ~そのルーツと社会文化的意義を探る~ (市村出版発刊予定) 他必要な資料は準備する。 [参考書] 池田勝、守能信次編:講座・スポーツの社会科学—スポーツの社会学(杏林書院)				
<b>授業計画</b>				
	<b>項目・内容</b>			
1	生涯スポーツの基本概念			
2	生涯スポーツ政策とスポーツムーブメント			
3	諸外国のスポーツ政策			
4	生涯スポーツ学研究の方法Ⅰ—社会科学的考察			
5	生涯スポーツ学研究の方法Ⅱ—自然科学的考察			
6	スポーツクラブ政策と現状			
7	子どもの運動・スポーツ政策と現状			
8	高齢者の運動・スポーツ政策と現状			
9	生涯スポーツ指導者制度			
10	運動による健康づくり事業の計画(研究成果)			
11	運動による健康づくり事業の計画(実践プログラム)			
12	スポーツ施設運営の実態調査			
13	公共スポーツ施設の管理運営			
14	生涯スポーツ研究の現状と課題			
15	課題レポート			
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>				
本講義では、主に生涯スポーツの理論研究と実践プログラムを学習することを目的としていますので、事前に日本のスポーツ振興の現状については書籍等で概要と課題を抽出しておき、講義後には、その課題についての具体的な解決内容を明らかにすること。				